

# 大阪大学キャリアセンターについて

大阪大学 キャリアセンター  
副センター長 家島 明彦

## 1. はじめに

今回は、全学的な立場から学生のキャリア教育と就職支援を担当している、大阪大学キャリアセンターについて、ご紹介いたします。まずは、キャリアセンター長（学生生活担当副学長）から、キャリアセンターのミッションやビジョンについて語っていただきます。次に、工学研究科に所属しているキャリアセンター兼任教員から、キャリアセンターと工学研究科が連携することの重要性について語っていただきます。最後に、キャリアセンター専任教員から、キャリアセンターの活動について紹介させていただきます。

## 2. 大阪大学キャリアセンターについて：センター長より

森井英一

大阪大学キャリアセンター長、医学系研究科 教授

人は生きていく上で、さまざまな分岐点を経験します。右に行くか左に行くかで、その後の道筋が全く異なることになる時があれば、右に行っても左に行っても、結局は同じ道に出ることもあります。自分が今進んでいる道の先には何があるか、常に私たちは気にしながら生きています。ただ、その道が正解かどうかは最後の最後までわからないものです。しかし、わからないから勘に頼って進んでいこうとすることは決して得策ではなく、どのような道があるのか、どの道を進めばどのあたりに行くのかという情報をキャッチアップすることが大切です。大阪大学では、その情報をできるだけわかりやすく学生さんにお伝えすべく、2017年12月1日にキャリアセンターが設立されました。情報をもとに自らのキャリアをデザインすることは人生において重要で、そのサポートを担う組織がキャリアセンターであるという位置付けです。大阪大学キャリアセンターは、単なる就職支援組織ではなく、キャリアをデザインしていく意義を教育するセンターです。アカデミックなキャリア理論も教養として教えながら、人生を生き抜くための知識・技能・態度を学生に修得してもらおう仕組みです。その一方、実践的な「出口」支援も積極的におこなっており、学内外の組織と連携しながら進路・就職に関するイベントを数多く開催しています。また、キャリアセンターはStudent Life Cycle Support Center (SLiCSセンター)の一部門も兼務しています。大阪大学を卒業、修了した皆さんは多様なキャリアを積んでおられますが、各々がどのようなキャリアを辿っておられるのかを調べ、そのキャリアを進む上で真に必要な教育はどのようなものであったのかということ、教育現場にフィードバックしていく役割もキャリアセンターは兼ね備えています。今後、これまでに増して大阪大学の同窓会組織とも強い連携をとりながら、キャリアセンターは進んでいく必要がありますので、何卒よろしくごお願い申し上げます。

(京都大学 薬学部 1988年卒

大阪大学 医学部 1992年卒 大阪大学 大学院医学研究科 1996年修了)

### 3. キャリアセンター兼任教員として

大政健史

工学研究科 生物工学専攻 教授

現在、大阪大学キャリアセンターの兼任教員を務めております。キャリアセンター兼任教員は、5名いますが、理工情報系の研究科からは私1名の参画となります。人生100年時代を迎え、卒業・修了時の就職のみならず、人生そのもののキャリアをどうデザインしていくかという根源的な意義を学生自身に学び取ってもらうことが重要な時代になりました。その観点からも本センターの果たすべき役割は、大変大きいと感じております。キャリアを考える際に、工業倶楽部からつながる大阪大学工業会の100年余にわたる長い活動と連携することは大変重要です。どうか宜しくお願い致します。

(醗酵 1986年卒 1988年修士 1992年博士)

### 4. キャリアセンターの取組

家島明彦

キャリアセンター 准教授

キャリアセンターは全学的なキャリア教育・就職支援プログラムの体系化やオンライン化を推進してきました。ここでは、その概要だけ紹介いたします。

#### 4-1. 進路・就職相談

各キャンパスに進路・就職相談室を設置し、学生がキャリアアドバイザー（資格を持つ相談・支援の専門家）に進路や就職に関する悩みを無料で相談できるようにしています。3キャンパス4室で平日毎日7枠（1枠40分、ただし閑散期8～12月は午後4枠のみ）、1年間で約5000枠を用意しています。2015年2月からはオンライン予約システムを導入し、予約時の相談カテゴリーの内容を分析したり、部局別に相談内容や相談時期に特徴があるか分析したりしています。全体的には「面接の受け方、注意点、面接練習（模擬面接）」「履歴書・エントリーシートの記入方法（志望動機、自己PR）」「インターンシップに関すること（エントリーシート等を含む）」「就職活動の方法（進め方）」が上位にランクインしていますが、工学部・工学研究科の特徴としても、やはり面接やエントリーシートの書き方の相談が多くなっています。2019年10月には部局長訪問の一環として工学研究科を訪問し、相談室利用状況のデータなどを分析した結果について報告しました。学部1年生から博士後期課程3年生まで相談実績があり、吹田キャンパス以外の相談室を利用している工学部・工学研究科の学生もいる、ということが明らかになりました。

### 4-2. キャリア教育科目

学部生向けには基盤教養教育科目「現代キャリアデザイン論Ⅰ」(学部・学年を超えた受講生との議論や対話を通してキャリアデザインについて理論的・実践的に学ぶ授業)、「大学生活とキャリア」(18歳＝成人として必要な法律とお金の知識について弁護士やファイナンシャル・プランナーから学ぶ授業)、高度教養教育科目「現代キャリアデザイン論Ⅱ」(様々な業種・職種の社会人から多様なキャリア＝生き方・働き方を学ぶ授業)を開講しています。大学院生向けには学際融合教育科目「現代キャリアデザイン特論」(欧米の各種キャリア理論を学ぶ授業)、「次世代キャリアデザイン論A」(春学期と秋学期に開講されるオンデマンド型のターム科目＝1単位で、大学院生として知っておくべきキャリアデザインの基礎について学ぶ授業)、「次世代キャリアデザイン論B」(夏学期と冬学期に開講されるオンデマンド型のターム科目＝1単位で、大学院生として知っておきたいキャリア形成に役立つ学内各種支援情報について学ぶ授業)を開講しています。もちろん過去の受講生の中に工学部1年生から工学研究科博士後期課程3年生まで含まれています。

### 4-3. キャリア・就職支援イベント

単位は出ないものの、学生のキャリア形成に資する正課外のイベント(セミナー、ガイダンス、キャリアアップ講座など)も多数開催しています。他大学のキャリアセンターが実施している就職支援イベントも当然ながら実施していますが、大阪大学の特徴として、研究者養成大学ということで、研究インターンシップや研究開発職の卒業生を招いた講演、研究者としてのキャリア形成に対する支援イベントなどにも力を入れています。また、コアタイム(実験に専念するための時間)制度が導入されている理系の研究室に所属している学生のために、就職・キャリアガイダンスは全て講義自動収録配信システムを使って「いつでも」「どこからでも」「オンラインで」視聴できるようにしています。さらに、学生が貴重な研究時間を割いてインテックス大阪などの遠い会場まで足を運ばなくても、キャンパス内の体育館で合同企業説明会に参加できるように、キャリアセンターが学内合同企業説明会を主催しています。学生が研究活動と就職活動を両立できるように、学生が本分である学業に専念できるように、様々な工夫と配慮をしながらイベントを実施しています。年間100以上のイベントを開催しており、毎年約5～6千人の学生が参加しています。

### 4-4. キャリアサポーター制度

キャリアサポーター制度とは、内定者の先輩が就活生の後輩を支援する制度、すなわち、就職活動におけるピア・サポート制度です。在学中の異業種交流会、学部・研究科・学年を超えた阪大生ネットワーク、阪大のブランディング戦略と言うこともできると思います。1期生(2015年3月卒業・修了)には、年1000冊以上の本を読むという工学研究科の大学院生がいて、有名出版社に就職しています。他にも多くの有名企業等に内定した工学部・工学研究科の学生が登録してくれており、卒業後も後輩のために協力してくれています。在学中は卒業・修了に向けた研究や論文で忙しいため、卒業後にキャリアサポーター同士で交流して彼ら・彼女ら自身の人脈も広げながら、ゆるやかに繋がってもらって

必要なときにできる範囲で後輩の就活生の相談に乗ってもらったり、学内イベントに登壇してもらったりしています。在学中しか登録できない制度ですが、既卒者の方で現役学生のキャリア支援に協力したい方がいれば是非ご連絡ください。

#### 4-5. 採用担当者の方へ

工学研究科においては研究室推薦によって就職が決まる学科・コースも少なからずあると把握しておりますが、そうでない学科・コースもあり、自由応募で就職活動をする工学部・工学研究科の学生もいると認識しております。企業の採用担当者が阪大生に対して求人票やインターンシップ募集や会社説明会の案内を届けたいときは、キャリアセンターが提供している「大阪大学就職支援システム」を是非ご活用ください。1企業につき1アカウント無料で提供しております。ページビューは年間35万を超えているシステムです。

大阪大学就職支援システムの利用登録は下記 URL から

<https://cs-web.osaka-u.ac.jp/recruit/user/register/>

このように大阪大学キャリアセンターの取組は多岐にわたります。他にも様々ありますが、紙面の都合上、主要なものに限定して紹介しました。専任教員は私1人しかいませんが、今後も工学部・工学研究科の学生を含む全ての阪大生のために全学的な立場から様々な活動を展開していきたいと思っています。

(大阪大学 人間科学部 2003年卒)

## 5. おわりに

大阪大学キャリアセンターは、2022年12月1日で設立5周年を迎えました。2022年12月9日には千里阪急ホテルで設立5周年記念シンポジウムを対面とオンラインのハイブリッド形式で開催することができました。大阪大学キャリアセンターのウェブサイトから、当日の録画映像を視聴することができるので是非ご覧ください。今後ともよろしく願い申し上げます。

<参考 URL>

大阪大学キャリアセンター

<https://career.osaka-u.ac.jp/>

大阪大学キャリアセンターFacebook (公式)

<https://www.facebook.com/OUCareer/>

大阪大学キャリアセンターTwitter (公式)

<https://twitter.com/OsakaUnivCareer>



図1：ワニ博士（リクルートスーツの頃）